

めでたく満100歳

金澤 ナツイさん(小浜)、鈴木 ウタさん(大沢)、本多 チイさん(館野)、菅野 ケサヨさん(太田)

この世に生を受けて一世紀。4人の方がめでたく満100歳を迎えられ、二本松市からは賀寿、福島県からは賀寿と木杯が贈られました。皆さまのますますのご長寿をお祈りいたします。



金澤 ナツイさん

6月9日に金澤ナツイさん(小浜)が、めでたく満100歳を迎えられました。花を育てることやパッチワークが好きとのこと。長寿の秘訣は「好き嫌いなく、何でも食べること」。



鈴木 ウタさん

6月10日に鈴木ウタさん(大沢)が、めでたく満100歳を迎えられました。読書や編み物が好きとのこと。長寿の秘訣は「体を動かすことと、好き嫌いなく、3食食べること」。



本多 チイさん

6月11日に本多チイさん(館野)が、めでたく満100歳を迎えられました。手芸や絵手紙など、細かい作業が好きとのこと。長寿の秘訣は「好き嫌いなく食べること」。



菅野 ケサヨさん

6月29日に菅野ケサヨさん(太田)が、めでたく満100歳を迎えられました。昔から散歩が好きとすることで、長寿の秘訣は「よく食べることと、散歩をすること」。

幸福の黄色い羽

認める力と信じる力を

7月1日、二本松・安達両駅前二本松・安達両支部保護司会による「第69回社会を明るくする運動」の街頭キャンペーンが実施されました。写真は二本松駅前での街頭キャンペーンの様子です。二本松支部保護司会、二本松方部更生保護女性会の皆さんが、通勤・通学する皆さんに「犯罪や非行の防止。立ち直りを支える地域のチカラ」と印刷されたティッシュを配布し、運動への理解を求めました。



子どもの読書推進活動

親子で絵本に親しむ

6月23日、第5回えほんフェスティバルが安達公民館で開催されました。市内の読書ボランティアによる大型絵本や紙芝居の読み聞かせなどが行われ、多くの親子連れで賑わいました。

また、ブックステップ事業の絵本の贈呈式が行われ、3・4歳児に絵本が手渡されました。



二本松の繁栄・発展を目指して

市政懇談会「タウンミーティング」開催

7月2日から12日にかけて、市民が幸せを実感でき、50年、100年先の次世代を見据えた礎を築くため、6会場でタウンミーティングを開催しました。今年度の事業施策等の説明の後、市民の皆さまと市長、教育長をはじめとする市職員が直接意見を交わし、参加した市民の皆さまからは、数多くの建設的な意見をいただきました。



菊人形会場起工式

華やかな平安時代へタイムスリップ

霞ヶ城公園にて、10月1日～11月17日の期間に開催される第65回「二本松の菊人形」の会場起工式が行われました。今年の二本松の菊人形のテーマは『源氏物語』。千年の時を超えて日本のみならず世界で愛され続ける物語を中心に、平安時代の華やかな世界を、色鮮やかな菊人形で表現します。



累計10万ポットの花苗を寄付

花いっぱい二本松

6月28日、湯川村の(株)渡部園芸・渡部貞雄社長より、日々草やベゴニア、コキアなどの花苗約7,800ポットが寄付されました。平成24年3月から毎年春と夏の2回寄付をさせていただいており、今回が16回目。ご寄付いただいた花苗は合わせて約10万ポットとなります。今回も安達ヶ原ふるさと村公園のほか各公園に植栽されています。



防犯活動への寄付

地域の安全のために

6月13日、福島県社交飲食業生活衛生同業組合二本松支部より「安全で安心な街づくりのため」二本松地区防犯協会連合会宛に寄付をいただきました。ご厚意は、二本松地区の防犯活動や防犯ボランティア等への活動支援に役立てられます。



安達地方広域行政組合消防本部主催 救助隊管理者観閲

命を救うために

6月21日、救助隊管理者観閲が行われました。高さ7m、長さ20mの渡過ロープで対面する塔上へ進入し、要救助者を救出する「ロープブリッジ救出」や「引揚救出」「ほふく救出」が行われました。

ロープブリッジ救出の安達広域チームは、福島県消防救助技術大会でも上位に入賞しており、東北指導会へも出場しました。





1_ホームステイ先のホストファミリーと市内の紫陽花を見学するマーティンさん
2_そば打ちを体験するカリミさん



友好都市提携20周年

アメリカ ダートマス大学の学生が来訪

7月5日、二本松市出身の世界的歴史学者・朝河貫一博士の縁で二本松市と友好都市提携をしている、アメリカ合衆国ニューハンプシャー州ハノーバー町から、ダートマス大学の学生9人が来訪されました。学生の訪問は今回で20回目。学生たちは7日まで市内のホストファミリー宅にホームステイし、交流を深めました。

夏休みには市内の中学生を中心とした「市民の翼」団員がハノーバー町を訪問します。



ろう者ボウリング選手権

二本松から世界へ

3月に行われた第28回全国ろう者ボウリング選手権大会において、菊地武志さん(岩代地域：成田)が好成績を収めました。この成績により、第4回世界ろう者ボウリング選手権大会に出場することが決定し、7月1日、市役所を訪れ出場を報告しました。世界大会は、8月に台湾の桃園で開催されます。



第30回岩代ロードレース大会

雨の中、2部門で2つの大会新記録

6月30日、岩代ロードレース大会が開催されました。0.9～5kmまでの24部門に、岩代地区をはじめ各地の小・中学生や一般市民ら305人が参加しました。雨の中でのレースとなりましたが、2部門で2つの大会新記録が更新されました。

幼児が参加する親子の部0.9kmでは、仲良く手をつなぎながら、力いっぱい走り抜けました。



小学校高学年・中学生のランナーと柏原さんの記念撮影

未来のアスリートへ

柏原竜二さん陸上教室を開催しました

東和ロードレース大会前日の7月6日、箱根駅伝「山の神」柏原竜二(いわき市出身)さんを招いて、陸上教室が開催されました。会場となった東和中学校体育館には、市内の小学生と中学生、約100人が日本のトップアス

リートから、陸上の技術指導を受け、スポーツの楽しさを体験しました。

柏原さんは翌日の東和ロードレース大会にも参加し、頑張っている子ども達に声援を送ったり、伴走したりして応援しながら、素晴らしい走りを披露し、沿道で応援している人たちも大いに盛り上がりました。



一生懸命駆け回る小学生ランナー



柏原さんの指導を受ける小学生たち